

記載例(その他の事業なし)

初年度は「成立の日から」と翌年度以降は「△年△月△日から」と記載します。

〇〇年度 活動予算書
成立の日から△年6月30日まで

特定非営利活動法人〇〇〇〇
(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	150,000		
賛助会員受取会費	15,000	165,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	100,000	100,000	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	50,000	50,000	
4. 事業収益			
〇〇事業収益	50,000	50,000	
5. その他収益			
受取利息	100		
雑収益	1,500	1,600	
経常収益計			(a) 366,600
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
役員報酬	50,000		
給料手当	150,000		
法定福利費	5,000		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	205,000		
(2) その他経費			
会議費	3,000		
旅費交通費	15,000		
減価償却費	0		
支払利息	0		
その他経費計	18,000		
事業費計		223,000	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	100,000		
給料手当	0		
法定福利費	10,000		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	110,000		
(2) その他経費			
会議費	0		
旅費交通費	5,000		
減価償却費	0		
支払利息	0		
その他経費計	5,000		
管理費計		115,000	
経常費用計			(b) 338,000
当期経常増減額			(c) 28,600
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益	0		
経常外収益計		0	(a)-(b)
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損	0		
経常外費用計		0	(c)+(d)
当期正味財産増減額			(d) 0
設立時正味財産額			(e) 28,600
次期繰越正味財産額			(f) 50,000
			(e)+(f) 78,600

真ん中の列には各科目の中計を記載します。

人件費とその他経費に分け、支出の形態別に内訳を記載します。

次期事業年度活動予算書の「前期繰越正味財産額」と金額が一致することを確認します。